



岐阜県本部だより

発行：NPO 法人日本空手松涛連盟岐阜県本部
岐阜県岐阜市森東9 6 番地

発行責任者：岐阜県本部広報部 吉村健一
岐阜県瑞穂市別府 1214 tel/fax(058)326-5512

2020年8月6日～8日 日本武道館



いよいよ2020年が幕を開けた。小さな島国日本から世界中の国々に向けて感動と興奮が怒濤の如く放出されるであろう東京オリンピック。五六年ぶりとなるその瞬間に向けて、国中が大きく動き始めた。観戦チケット落選にめげず、ならばと大型テレビの購入に踏み切る者。

8万人収容の国立競技場を始め、海の森水上競技場、選手村などの巨大施設建設、また交通インフラ整備など、昼夜問わず急ピッチで現場に携わる者。

お・も・て・な・し」を掲げ、世界中の選手受け入れに万全を期すボランティアや宿泊施設、旅行業者。観客の心を煽るメディア戦略に試行錯誤する報道陣。オリンピックによる経済効果を語る学者たち。

そして日本だけでなく海外でも、この東京という五輪の聖地を目指し、代表選考に全てをかけるアスリート達。そこに携わる全ての人の息遣いが聞こえてくる。

ここにオリンピックの歴史上、初めて「空手」が競技として認められた。そこには果てしない先人たちの足跡があり、また、署名活動など我々空手道を歩む者の思いも届き、やっと、やっと、やっとたどり着いたその時を間もなく迎えようとしている。

正に「夢に見た 五輪の空手」が、東京という選手の息遣いまでもが感じられるほどの距離で繰り広げられようとしている。

その熱い戦いが世界中に知らしめられる時、どうだ、これが空手道だ」と誇らしげに胸をはりたい。

メディアが報じる開催までのカウントダウン。まるで自分が選手でもあるかのように、興奮ワクワクと緊張ドキドキが交錯する。世界の頂点に懸けるアスリートたちの戦いに、昂ぶる拳を歓喜とともに振り上げよう。熱狂の嵐」の上陸は決して避けられない。



JKS 岐阜県本部主催 第2回指導員倫理講習会開催

近年、社会における「ハラスメント」問題が急増し、深刻な問題となっています。ハラスメントは、広義には「人権侵害」を意味し、性別や年齢、職業、宗教、社会的出自、人種、民族、国籍、身体的特徴、セクシュアリティなどの属性、あるいは広く人格に関する言動などによって、相手に不快感や不利益を与え、その尊厳を傷つけることを言います。JKS 岐阜県本部では、空手指導の中で問題視されているハラスメントを中心に、及ぼす影響やリスク、防止するための対策などについて田中本部長、大島師範が講師となり、1月13日 JKS 岐阜県本部主催の第2回倫理講習会が開催されました。

初めに田中本部長より①色々な種類のハラスメント、②ハラスメントになる場合とならない場合の違い、③ハラスメントに巻き込まれない為の指導者としての心得をわかりやすく解説。続いて大島師範より、ハラスメントにならない為のコミュニケーションと信頼関係、そしてそれらを培う為に必要な傾聴についてなどを話され、受講した指導員は自分の指導方法に当てはめ熱心に受講する姿が印象的でした。以下に受講者の感想をご紹介します。

自分の中でハラスメントとはずっと定義が不確かで曖昧なものでした。
と言うのも、同じ事例が起こってもハラスメントと捉えられる時とそうでないと捉えられる時が多々あるからです。
では何故ハラスメントが起こり得るのか？ハラスメント＝信頼関係の破綻なのではないか？
私のその疑問に対して、今回の講習会の内容は正に納得のいく解答をくれました。
そしてその上で、指導者として必要な心得を具体的な事例を交えつつ講義していただきました。
この講習会を受けて、指導者としての自分を振り返る事が出来ました。講習会を受けて、本当に良かったです。
岐中支部 棚瀬保代

今回の講習会では、印象に残る話を沢山聞きました。まずは言葉のボキャブラリーを増やすことで、道場生に手取り足取りと、触らなくても指導ができる田中本部長は講義の中で教えてくださいました。それが今、私が一番足りない部分です。まだまだ学ばねばと、痛感しました。
そして道場生の中で、ヤル気がある生徒たちよりも、その反対のそうでない生徒や稽古についてこれない生徒ほど、ハラスメントに近い環境を生み出す可能性が高いと、大島師範がおっしゃいました。今日、私が指導をさせていただけるのは大島師範を始め、諸先輩方の教えがあり、そして大切なお子様を道場に連れて来て下さる御父兄に、感謝して日々努力し続けます。 岐中支部 棚瀬 雄司

最近ではスポーツにおいてパワハラやセクハラといったハラスメントがニュース等で話題となっているが、空手道の世界でも残念ながらハラスメントが実際に起こっていることを知った。講師から、父兄からの告発やクレームといった実例を聞き、今までは他人事のように思っていたが、実際に道場内での普段の言動を考えると、自分も当てはまる部分があるのでは・・・と心配になった。
そういったことがないように、まずは、ハラスメントは道場としての信頼を失墜させかねない看過することができない重大な問題であるという認識を持つこと。そして、今までは問題ないと思っていた言動も人によっては不快に思うことがあるため、道場生一人ひとりに寄り添ってお互い信頼関係を築くことが重要であることを改めて本講習会で学んだ。 岐東支部 山森康宏

岐阜県空手道連盟強化部主催 第2回コーチングテクニックセミナー開催

全日本空手コーチが助言

岐阜出身松久さん 指導者向け講習会
東京五輪の正式種目に選ばれた空手で、未来のトップ選手の育成につなげよう。と、指導者向けのコーチングテクニックの講習会が十九日、岐阜市数田南の日本空手協会本部道場であった。質疑応答で松久さんは、学生に応じたトレーニングの量について「低学年と高学年で区別するが、個人差がある。追い付かぬ」と多めに練習する方がいい、と多々見つけてあげてあげることが大事なことと話した。参加者の棚瀬保代さん
小学生への指導を深める松久さん(岐阜市数田南)

オリンピックを機に日々進化するテクニックと、日々改定されるルール。競技としての空手はどんどん低年齢化を辿り、SNS では新たな情報が溢れるように次々と更新される。「何が新しいのか」、「何が正しいのか」、「何を伝えればいいのか」指導者に選択が迫られる。しかし、一番大切なことは子どもたちの目に、耳に、心に「どう伝えればいいのか」、Whatではなく How の部分を学ぶ、それがこのコーチングテクニックセミナーの目的。
令和元年12月29日。第2回目の開催となるこのセミナーは、今回もナショナルチームコーチの松久功先生(岐阜県出身)を講師として招聘し、「指導者が学ぶ」講習会が行われた。前半はモデル選手に技術指導する講師の語り掛けであったり、スキンシップであったり、指導者と生徒の距離感を見とり、後半は受講者(指導員)だけで円座になり、道場運営についての考え方や、試合前日や試合後の選手にどんな言葉をかけるか、子どもたちにどこまでの敬語を求めるか、といった技術ではない部分のディスカッションが行われ、講師の松久先生も「こんな素敵な講習会は全国でも聞いたことが無いし、他県で話したら『岐阜は凄いな！』と羨ましがられました。それにこういった講習会に参加される熱心な指導者がこんなにもいることに感動し、私も岐阜県に少なからず恩返しができることを幸せに思います」と語った。
この事業は岐阜県空手道連盟指導強化部が企画し、岐阜県体育協会が「優秀指導者育成事業」としてバックアップ。毎年12月末の開催が恒例となっている。令和2年末には第3回の開催を計画しており、松久講師に加えてメンタルトレーナーや栄養士の招聘も予定しているとのこと。※この事業の詳細は今月発売の空手専門誌『JKFan』にも大きく掲載されます。

<2019年12月30日 中日新聞朝刊より>

令和二年度 JKS 岐阜県本部関連 年間行事予定表 (日程変更の可能性もあるので詳細は支部長に確認の事)

2月11日(火祝) 県本部型組手技術/審判/倫理講習会 北方総合体育館	9月20日(日)~21日(祝) JKS 全国空手道選手権大会 静岡草薙体育館
3月1日(日) 3月度昇級審査会 もえぎの里にて3部制	9月27日(予定) 全空松全国空手道選手権大会 アリーナ立川立飛
4月11日(土) 全空松東海地区大会 岡崎中央総合体育館	11月15日(日) 常任理事会・理事会 岐阜市西武体育館
4月29日(水祝) JKS 岐阜県大会 メモリアルで愛ドーム	11月1日(日) JKS 東海北信越技術講習会 静岡焼津シーガルドーム
6月7日(日) JKS 昇級昇段審査会 OKB ぎふアリーナ	11月29日(日) JKS 昇級昇段審査会 OKB ぎふアリーナ
7月4日(日) 一般二段・三段審査会 メモリアル剣道場	<2021年>
8月2日(日) JKS 東海北信越地区大会 静岡焼津シーガルドーム	1月23日(土) 常任理事会・理事会・新年会 グランパール岐山
9月未定 JKS 昇級審査会 北方総合体育館	2月11日(木祝) 県本部型組手技術/審判講習会 北方総合体育館